1時間ほど街中、高速道路で試乗したがどの条件でも好印象。インターから本線へ入る回り込む導入路でのロール感も素直で安定

CHUHATU PLUS チュウハツプラス

乗り心地よし、ロール感よし、安定性よし！ 傑作の「ばね」が走りを変える！

問い合わせ／発売元　SPK　☎03-3472-5015　www.chuhatsu-plus.jp
製造元　中央発條

SUSPENSION
86&BRZ TUNING GUIDE

中央発條は、トヨタ自動車にも純正スプリングを納入している、世界的な〝ばね専門メーカー〟。その中央発條が発表した、トヨタ86用のローダウンスプリングが「チュウハツプラス」である。

製品は、見てのとおり純正形状。車高調キットを見慣れた目には地味に見えるかも知れないが、このシンプルな作りのなかには、最新技術が詰め込まれているのだ。

それが「SASC（サスシー）」という技術。これについては図1を見て欲しい。

図1にあるように、ばねが伸び縮みするときに「反力線」が発生するのだが、従来型のばねでは一定方向に定まらない。すると反力線の向き次第では、ダンパーのスムーズな動きをスポイルする原因になる。

また図2のように4本のばねがそれぞれ違う方向に反力を発生させた状態では、路面のうねりや凹凸を吸収できず、クルマが勝手に横に流れる動きになることもある。

そこで中央発條は、この反力線の位置&向きを計算通りに発生させることができるばねを開発した。それがSASCである。

そしてチュウハツプラス。このSASCを取り入れたローダウンスプリングで、組み合わせるダンパーは純正を対象にしている。

実際にデモカーに試乗してみると、チュウハツプラス仕様のばねは、ダンパーの動き出しがスムーズになり、純正のばねに比べて細かな突き上げ感が軽減された、快適な乗り味になっていた。

そのまま高速道路へ入ってみると、ステアリングに落ち着きがある。また、路面の継ぎ目を越えるときの収まりもスムーズだった。

これについて、SASCの効果もあるが、86用チュウハツプラスは前後のばね定数も徹底的に合わせこんでいて、それがより安定した動きを作り出す秘訣でもあった。

ばね定数テストだけど、減衰力を抜いたダンパーを用意し、ばねだけの支えで走行を行なう。この状態で前後のばね定数が最適になると、ダンパーが効いているのと同じような走りができるようなるという。

こういった乗り味の改善は、クルマの「質」を高めてくれるものだけに、86をもっといいクルマにしたいと考えているオーナーには「チュウハツプラス」のパーツはチェックしておいて欲しい。

CHUHATU PLUS
トヨタ86（夏前発売予定）　F:-6mm　R:-9mm　予価4万4100円（税込み）

●プリウス/ZVW30/ツーリングS（前期、後期）●プリウス/ZVW30/ノーマルグレード（前期、後期）●プリウスα/ZVW41W（5人乗り）●プリウスα/ZVW40W（7人乗り）●AQUA/NHP10●プリウス/NHW20/ツーリングS●カムリHV/AVV50（発売予定）

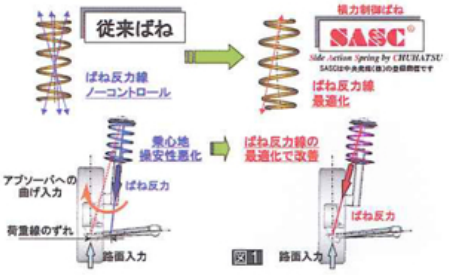

図1

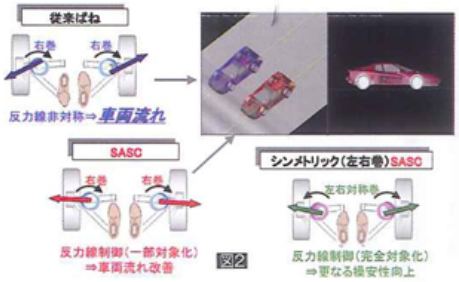

図2

キットには専用のバンプラバーも付属する。86用チュウハツプラスの発売は2013年の夏前を予定している。あと少しの辛抱だ

反力線最適化には座巻部形状や巻数や胴中部の湾曲形状などが重要。そして計算値通りの結果がでるように素材の質にもこだわる